

## 《事前質問へのご回答》

### 1. 経営方針（2024-2026）の進捗について

業績面について、売上収益はお客様の IT 投資意欲が旺盛な状況が継続し、システムサービスやハードウェア販売が好調であったことから、前期比 297 億円増収の 4,337 億円となり、上期決算で公表した 4,270 億円に対し、さらに 67 億円上回りました。

営業利益、調整後営業利益、当期利益についても、人件費の上昇や投資強化、M&A 関連費用の計上等による販管費増加を、増収による売上総利益の増益分でカバーし、公表値を上回る結果となりました。

投資戦略については、子会社化したカタリナマーケティングを始め、北米での出資も強化しています。成長投資枠 700 億円にとどまらず、2026 年度以降も成長のための投資を加速させてまいります。

今後の更なる成長を見据え、人財戦略において事業戦略をリードする人財の獲得と育成など各種施策を進めております。また、技術戦略においては 2026 年度に設立した AI CoE により、事業・開発・業務変革の 3 領域での AI 活用の取り組みを横断的に統括し、推進していく方針です。

### 2. 業績見通しについて

2027 年 3 月期の売上収益は、お客様の IT 投資需要の力強い状況が継続すると見ていること、また、足元の受注残高の積み上がりや案件のパイプラインの状況もふまえ、前期実績比で 363 億円増収の 4,700 億円を予想しております。

利益面は、将来の成長に向けた投資の強化などにより販管費の増加を見込む一方で、増収およびサービスの利益率向上による売上総利益の増益により、営業利益は 58 億円増益の 484 億円、営業利益率は 0.2 ポイント向上の 10.3%としております。

また、調整後営業利益は前期比で 48 億円増益の 484 億円、調整後営業利益率は 10.3%の予想です。

### 3. 定款変更について

2026 年 3 月 27 日に開示しましたとおり、当社は、これまでエネルギー分野で培ってきたシステム開発のノウハウを活かし、複数の蓄電池等をまとめて管理し、電力市場で売買や需給調整を行う、アグリゲーション事業に取り組んでいきたいと考えております。

当社は、本事業を通じて、本事業およびエネルギー分野における当社が提供する IT サービスをより高度なものとすることを目指しており、電力システムの安定化と再生可能エネルギーの普及に貢献するとともに、当社の既存サービスの付加価値向上やエネルギー分野におけるさらなるサービス拡充につなげてまいりたいと考えております。

初期段階では、まず当社グループにて蓄電池設備を保有し、実際の電力市場で運用することで、運用データと運用実績を蓄積し、サービスの精度向上や差別化に繋げたいと考えています。その後、得られた知見やデータをもとに、他社が保有する蓄電池等も対象としたサービスへと段階的に拡大していく方針です。